

進路だより

令和6年 3月吉日
都立中野特別支援学校
第5号
校長 和田 慎也
担当 杉本 美樹

～卒業生の皆さん～

御卒業おめでとうございます

今年度も感染症対策をしながら様々な活動に取り組んだ一年となりました。進路指導部に関しては、小学部、中学部、高等部それぞれの学部で就業体験や実習を行うことができました。生徒たちは経験を通して将来に向けて、働くイメージをもったり、力を付けたりすることができたと思います。御家庭にも御理解、御協力いただきありがとうございました。

今号では、今年度に取り組んだ進路指導などについて報告いたします。

【専任より】

◆高等部3年生の進路報告会から

先日、高等部3年生による進路報告会がありました。「自分の進路を決める」ことを目標に、1年間頑張った3年生。発表の言葉の中には、「家族のために働きたい」「家族に〇〇してあげたい」など、家族に対する感謝の言葉がありました。発表を聞きながら、とても頼もしく感じました。

個人的な話になりますが、私が中野特別支援学校に赴任して、最初に受け持った学年がこの学年になります。当時は中学部2年生でした。あれから早5年。彼らの成長を身近に感じながらも、「卒業」という現実に寂しさを覚えます。卒業後は、定着支援という立場で、彼らを支えていきたいと思います。

◆保護者の方からうれしい御報告

進路指導専任という仕事柄、保護者の皆様にお話をさせていただく機会が多々あります。そのお話の中で、「学校や家庭で今からできること」として、「自分でできることを増やそう」と御提案するようにしています。高等部に入ると、進路希望先で現場実習を行います。学校とは異なる環境の中で力を発揮できるようにするために、「今この時からいろいろなことに挑戦しよう」とお伝えしています。

私から保護者の皆様へのお願いの1つに、「家庭人としての役割として、家事分担をすること」があります。家族のお手伝いではなく、「家事分担」という考え方。「本人が担う家事は本人と相談しながら決定し、本人がやらなくても家族は手を出さないで、本人がやるまで待ってください。」と伝えています。この話を聞いた保護者の方からは、「ウチは無理。テコでも動かないから…。」など、半ば諦めの反応が上がります。

先日、数年前に私の話を聞いたお母様から、うれしい報告がありました。この「家事分担」の話を聞いてから、今まで家族が行っていた食事後の食器の片付け（流し台に持って行く）を、本人に提案したようです。最初は、眉間にしわを寄せながら、「自分がやるの？」と嫌々ながら行っていた本人。数年後の今では、自分の仕事（役割）として、毎日片付けてくれるとのこと。これに味を占めたお母様。

「次は、食器の1つでも洗ってもらおうかしら…」と。そんなお母様に脱帽です。

4月には学年が1つ上がります。新しいことへの挑戦はいかがでしょうか？

(田邊 大樹)

【専任より】

■卒業後の生活にむけて

2月26日(月)に葛飾通勤寮の寮長である根岸なつき様をお招きして、保護者の方へ向けた通勤寮とグループホームについてのお話しをしていただきました。本研修会では利用までの流れ、実際に利用している方々の生活の様子、支援の内容などのお話があり、参加していただいた保護者の皆様には卒業後の生活について一度立ち止まって考える良い機会になったのではないかと考えております。御参加になれなかった保護者の皆様もお子様将来どのような暮らしが可能なのか、そして、そこに向けて今から何ができるのか考えてみてはいかがでしょうか？

■公共交通機関の利用について考えてみませんか？

卒業後の進路先を考える際、公共交通機関を利用できるか、利用できないかで大きく道が分かれます。小学部、中学部段階から徐々に一人通学の練習をしている生徒は、卒業後に通勤・通所するかもしれない進路先の選択肢が増え、進路選択の幅も広がっている方が多いです。逆に一人通学練習の経験がない生徒に関しては、進路選択の幅が狭まっているように感じています。バスを利用して保護者の方と一緒に買い物へ行く、電車を利用して一人で映画へ行ってみるなど、お時間のある際に公共交通機関の利用の練習をしてみませんか？春休みには、そんなことを考える、また、体験する良い機会かもしれません。お子さんの明るい未来のためぜひ、御検討ください。

今年度も、本校の進路指導への御理解と御協力ありがとうございました。

(江川 拓郎)

<小学部>

今年度は、計画していた就業体験や中学部の見学、体験など全て実施することができました。それぞれの事前学習では、いつも一緒にいる担任以外の進路専任や中学部の先生、主事さんとの関わり、体験や見学を通して、地域や社会の方々との関わりへと広げることができました。また、挨拶や話を聞くときの姿勢など日々の学びを実践することで、自信につながる貴重な学習の場になりました。小学部での就業体験は5・6年生の学習になっていますが、小学部1年生から学習している基本的な挨拶、自分のことは自分でやってみようとする意識、係活動で培ってきた役割への達成感や責任感がとても大きな基礎となっています。少しずつできることを増やしていく喜びを味わえたこの1年間の成長は、次につながる1歩です。保護者のみなさま、御理解、御協力ありがとうございました。

小学部6年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。心も体も大きく成長したみなさんは、これから中学部へと進学します。これからも1歩1歩進んで行ってください。応援しています。

(湊 友里)

<中学部>

中学部では、日々の学習の中で自分の力を伸ばしたり、高等部や校外での就業体験から将来へのイメージを見付けたりと一年間を通して様々な経験をしてきました。各学年から今年度取り組んでできたことをお伝えしていきます。

1年生：中学部になり初めての学習である職業では、「挨拶」「身だしなみ」「ルールやマナー」「健康な身体」をポイントに仕事について学びました。郵便局やカフェの仕事体験やふらっとなかのへの就業体験を通して、働くイメージをもつことができ、将来に向けて考えるきっかけになったと思います。

2年生：今学期は地域の清掃活動を行いました。事前学習では、火ばさみを使ったごみの拾い方や分別方法についてスライドを見て学習し、実際に教室内で一連の作業工程を体験しました。当日の公園清掃では、教室で学習した内容を基に生徒だけで進行管理も行いました。生徒同士で協力しながら公園内のごみを集め、分別し、きれいにすることができました。次年度は高等部進学へ向け、さらに充実した進路指導をしていきたいと思えます。

3年生：卒業おめでとうございます。中学部の3年間では「職業」「作業学習」などの時間に「働くこと」について学んできました。一つ一つは小さな歩みでしたが、3年間経ってみると皆さんの中で大きく育っていることが実感できます。「学ぶこと、そして働くこと」その一部に立ち会えたことをうれしく思います。高等部進学への準備は整いましたね。

(杉本・石田・伊達)

＜高等部 1 年＞

高等部 1 年生では、3 学期に「ビジネスマナー講座」と「第 2 回職場見学」を実施しました。

「ビジネスマナー講座」では、本校の卒業生を招き、企業グループ・福祉グループに分かれて、それぞれの卒業後の生活についてお話をしていただきました。親や教員などのタテの関係でも、同級生というヨコの関係でもない、少し年上の先輩からの話を聞くことは、憧れや「がんばろう」という気持ちにつながります。そんな先輩たちのお話を聞くことで、進路について考えるきっかけづくりになりました。

「第 2 回職場見学」では、2 学期の第 1 回とは異なる企業や福祉事業所を見学しました。2 回目の見学ということで、生徒たちの事前・事後学習への取り組む姿勢にポジティブな変化が見られたように感じました。

さて、あっという間に 1 年が過ぎ、あと 3 か月もするとミニ実習があります。学校から実習先に向かい、お昼過ぎまで実習を行い、学校に戻ります。知らない大人の中で過ごすことには、不安や緊張が伴います。保護者の皆様には、一番身近な「サポーター」として、支えてくださればと思います。

1 年間、進路指導に関する教育活動に御協力くださり、誠にありがとうございました。

(松尾・和泉)

＜高等部 2 年＞

10 月からスタートした 2 年現場実習が終了しました。一人一人が慣れない環境の中で、初めての仕事や活動に一生懸命取り組みながら 3 日～10 日間の現場実習をやり切りました。不安と期待の入り混じった表情で送り出した生徒が、実習後にわずかな疲れとやり切った充実感に満ちた表情で学校に戻ってくる様子に成長を感じました。今回の現場実習で確認できた自分の得意なことや課題を参考に 3 年生の現場実習に向けての準備をしていきたいと思えます。

保護者の皆様には実習に関わる様々なことに御協力いただき、ありがとうございました。また 2 月には進路アンケートの提出にも御協力いただきありがとうございました。まだまだ先のことのように、あっという間に始まり、あっという間に終わるのが高等部 3 年生です。今できていることを着実なものにしながら 3 年の現場実習を乗り切る力をたくわえ、来年の旅立ちに向けての準備を進めていただければと思います。進路に関する御質問等はいつでも受け付けておりますので担任を通して御相談ください。

今年度も進路指導に対しまして御理解、御協力をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

(本橋・玉上)

＜高等部 3 年＞

コロナ禍、入学式に臨んだ生徒の皆さん、保護者の皆様方のマスク越しの眼差しからは、将来の不安が感じられ、実際に授業がスタートしても、しばらくはクラス単位の学習活動のみでした。大切な進路行事である「進路見学」でさえも企業や福祉事業所の方に来校していただき、簡易的な就業体験を行うにとどまりました。あれから、早いもので 3 年が経ち、いよいよ中野特別支援学校を巣立つ時が来ました。

さて、3 月 1 日（金）の午前には、花王株式会社から 4 名の講師をお招きして「高 3 身だしなみ講座」が行われ、洗顔やスキンケア、整髪の方法など、社会人に向けた様々なマナーを学習しました。初めて化粧水に触れ、恐る恐る顔の内から外へと手を動かす様子からは、戸惑いつつも大人への階段を一步上った晴れやかさも感じることができました。

また、同日の午後には、進路先を下級生に向けて発表する「高 3 進路報告会」が実施されました。舞台に立ちマイクの前で堂々と発表するその姿は、まさに新たな舞台（ステージ）で活躍が期待できるものばかりでした。進路先、仕事内容を発表した後、将来の夢も話したのですが、「お金を貯めて家族と旅行をしたい」「初任給でお寿司屋さんに行きたい」など、自分で稼いだお金で家族と一緒に楽しい時間を過ごしたいという思いがたくさん出ていて、自然と笑みが出るひと時でもありました。

入学時の厳しい時から、自分にあった進む路（みち）を切り拓いた生徒たち。保護者の皆様の御協力と温かい励ましがあったからこそと思います。本当にありがとうございました。（清水・武井・宗形）